



弁論・ディベート大会


12月22日(金)、中学1・2年生が弁論大会を、中学3年生がディベート大会を実施しました。弁論・ディベート大会は、環境や社会に目を向け、人の意見に耳を傾ける態度を養い、そして自分の考えを相手に伝える力を伸ばすことを目的に実施する行事です。今回は弁論大会に6名が出場し、ディベート大会は5名 vs 5名の形式で行われました。本レポートでは出場した生徒の主張や観戦した生徒の感想をお伝えします。

弁論大会

弁論大会は1・2年生一人ひとりが弁論するテーマを考え、国語の授業で発表し代表者を選出します。選出され代表となった6名はいずれも堂々と自分の考えを発表していました。審査員の先生方も選考に大変悩んだと仰っていましたが、最優秀賞に輝いたのは、2年生の幕田悠介さんです。優秀賞に選ばれたのは2年生の草野悠乃さんと1年生の佐藤ゆあさんです。おめでとう！

弁論テーマ: 「普通」って何?

「自分と違った意見を取り入れることができれば進化はない」



1年 佐藤 ゆあ (伊達市立保原小学校出身)

弁論テーマ: 理解して「少子化」という現状を


「地域の伝統や文化を残すためにも、子育てがしやすい街づくりが必要」



1年 富野 心葉 (国見町立国見小学校出身)

弁論テーマ: 改善したい! コンビニエンスストアの営業時間


「24時間営業のメリットを残しデメリットを解消するために」



1年 本田 かれん (福島市立瀬上小学校出身)

弁論テーマ: 「差別のない世界」について考えよう

「今、社会には、世界にはそれぞれを尊敬し合う姿勢が必要だ」



2年 赤間 創 (福島市立福島第一小学校出身)

弁論テーマ: 「違い」を認め合えたら


「自分を理解して、他者の個性も理解しようとする。社会全体で実践していきたい」



2年 草野 悠乃 (二本松市立安達太良小学校出身)

弁論テーマ: 「平等」な教育を目指して...

「勉強がしたくてもできない人がいる。この課題を解決し平等な教育を目指したい」



2年 幕田 悠介 (桑折町立伊達崎小学校出身)

ディベート大会

ディベート大会は中学3年生が国語の授業の中でディベートを複数回体験し、その中から出場選手を決めます。今回のディベートは「救急車の利用を有料化すべきである」このテーマで“肯定側”、“否定側”に分かれ行われました。難しいテーマではありましたがさすが中学3年生。それぞれの立場で説得力のある意見が述べられており、非常に見ごたえのあるディベートとなりました。

